



学校教育目標

勤勉で、正直に生き、感謝の心を持った、心豊かで健康な児童を育成する。

やさしく

かしこく

たくましく

※自分で考え、自分なりに表現できる児童の育成

～全員が参加する話し合い活動を通して～

本年度の強戸小の校内研修の主題は、昨年度と同様です。引き続き、さらに自分の考えを表現できる児童の育成を目指していこうと考えています。そして、児童全員ができるだけ自分の考えや立場を持ったり、意思表示したりできるように授業改善に取り組んでいきます。自分ごととして、自分の意思を持って話し合いに参加することにより、「主体的で対話的な深い学び」に結び付くと考えています。そのため、副題を～全員が参加する話し合い活動を通して～としました。

各授業で、自分ごととなるような課題やめあてを工夫するとともに、発問の仕方や指示・支援を工夫して自己決定する場面を設けていきます。児童全員の考えや意思を引き出すことで、全員が主体的に学習に取り組めるようにしていければと考えています。



5年生 林間学校

6月16日、17日の2日間、5年生が東毛青少年自然の家で林間学校を行いました。2日とも梅雨の合間の晴れ間に恵まれました。

初日は、良い天気で気温も高くなりました。午前中は、ウォークラリーができました。班ごとに協力して問題に挑戦しながら、楽しく歩き回れました。午後には、予定していた登山もできました。気温がだいぶ上がり、体力を使ったようです。また、下りは落ち葉の下が濡れていて滑るところがあり、長ズボンが汚れてしまうこともありました。それでも、集団で声を掛け合い、頑張りました。夜は、第1営火場でキャンプファイヤーを行いました。夏至間近ということもあり、18時半になっても明るい中での始まりでした。山の神をみんなで呼び、歌を歌い儀式的な行事もしっかり体験できました。そのあと、火を灯し、レクリエーションをしてフォークダンスを行い楽しみました。明るく無邪気にはしゃいでいる様子を見て心から楽しんでいるのが伝わりました。そして仲間と一緒に協力しながら活動できる子どもたちの生き生きとした意欲を感じました。

2日目は、ピザづくりを体験しました。係ごとに役割を決めて準備をして、グループごとに生地から作りました。なかなか生地が伸ばせなかったり破れてしまったりするグループもあったようですが、友達と学び合い、協力し合って作りました。自分たちの力で作ったピザは、多少形が悪くても、格別のおいしさだったと思います。

この2日間の体験を通して、子どもたちはまた一つ成長することができました。今後、この経験を生かして高学年としてさらにたくましく成長できることを期待しています。



